

～プライベートと両立した農業経営～ 前田 正之さん(砥部町)

JA えひめ中央 温室みかん部会長
1971 年生まれ



☆経営概況☆

栽培品目：温室みかん	36a
紅まどんな（施設栽培）	55a
甘平（露地栽培）	20a
レモン、温州みかん（露地栽培）	20a
労働力：本人、妻、父、長男 計4名	

☆ここがポイント☆

■就農のきっかけ

父の代から農業が始まり、当初は露地の伊予柑を中心に栽培していました。その後、温室みかんの栽培を始めるなど経営規模を拡大し、その手伝いをする内に、**私自身も農業に興味を持ち始め、同時に後継者として農地を守っていききたいという自覚が湧き、就農しました。**

■家族一丸となった栽培体制

親子三世代で一丸となった栽培体制を取っています。家族全員で共同の作業を行うことで、**栽培技術の共有化**を進め、もし誰かが農作業に参加できなくても、その穴を**補完し合える**ようにしています。

平成30年に就農した長男には、これから学んでもらうことがたくさんあります。**家族全員で栽培技術の伝承を行い、後継者としてしっかり育成していききたいと思っています。**

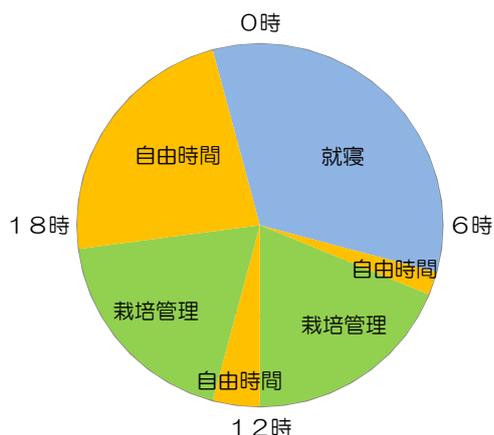


紅まどんなの枝吊り作業



親子で紅まどんなを収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

家族との時間を大切に、また、働き手に無理のない農業を目指し、週一日（基本的に日曜日）は休みを設けるようにしています。休みの日には、家族とショッピングや旅行に行くなど、家族と触れ合う時間を確保することを心掛けています。

また、週2回は地域で開催されるインディアカクラブに妻、長男と一緒に参加し、気分をリフレッシュすると同時に、地域との繋がりも大切にしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】 休日は不定休						
← 収穫・出荷 →						
【普通期】						
← 栽培管理 →						→ 休日 ←



地域のインディアカクラブに参加



親子三代で農業経営

☆これからの夢や目指すもの☆

親子三代が十分な生活ができる経営を維持しつつ、さらなる品質向上を目指し、収益アップを目指してまいります。

また、家族との時間を大切に、プライベートと両立した農業経営を実践してまいります。

☆メッセージ☆

愛媛県で盛んに栽培される柑橘類は、近年、需要が高く、単価も高く安定しているので、うまく栽培すれば十分に生活できる経営が可能です。

今後、農家の高齢化が進む中で、管理できてない農地も出てくると思います。そういった農地を利用し、私たちと一緒に農業をしてみませんか？**これからの農業は面白いですよ！！**